別紙１

財務省第２入札等監視委員会　平成25年度第２回定例会議審議概要

<table>
<tr><td>開催日及び場所</td><td colspan="2">平成25年12月25日（水）　仙台国税局３階会議室</td></tr>
<tr><td>委員</td><td colspan="2">委員長　高田　敏文　（東北大学大学院経済学研究科会計大学院教授）
委　員　青木　雅明　（東北大学大学院経済学研究科会計大学院教授）
委　員　髙木　龍一郎　（東北学院大学法学部長法学部教授）</td></tr>
<tr><td>審議対象期間</td><td colspan="2">平成25年７月１日（月）～ 平成25年９月30日（月）</td></tr>
<tr><td>抽出案件</td><td>４件</td><td>（備考）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">競争入札（公共工事）</td><td rowspan="2">２件</td><td>契約件名：（H25）東丁住宅ほか１住宅外壁改修その他工事
契約相手方：株式会社小又建設
契約金額：132,300,000円
契約締結日：平成25年９月９日
担当部局：東北財務局総務部会計課</td></tr>
<tr><td>契約件名：米沢税務署水路改修工事
契約相手方：株式会社後藤組
契約金額：12,600,000円
契約締結日：平成25年８月８日
担当部局：仙台国税局総務部営繕監理官</td></tr>
<tr><td>随意契約（公共工事）</td><td>－件</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">競争入札（物品役務等）</td><td rowspan="2">２件</td><td>契約件名：国有財産測量等業務（H25－第１回）
契約相手方：土地家屋調査士　柴田健治事務所
契約金額：2,604,000円
契約締結日：平成25年７月１日
担当部局：東北財務局総務部会計課</td></tr>
<tr><td>契約件名：平成25年分年末調整関係書類封入及び発送代行業務（グループ１宮城県、福島県）
契約相手方：日本通運株式会社仙台支店
契約金額：20,250,208円
契約締結日：平成25年８月19日
担当部局：仙台国税局総務部会計課</td></tr>
<tr><td>随意契約（物品役務等）</td><td>－件</td><td></td></tr>
<tr><td>応札（応募）業者数1者関連</td><td>１件</td><td>※　競争入札（物品役務等）国有財産測量等業務（H25－第１回）に同じ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">委員からの意見・質問、それに対する回答等</td><td colspan="2">意見・質問</td><td>回答</td></tr>
<tr><td colspan="2">次葉のとおり</td><td>次葉のとおり</td></tr>
<tr><td>委員会による意見の具申又は勧告の内容</td><td colspan="2">なし</td><td></td></tr>
</table>

別紙１

意　見　・　質　問	回　　答
【事案１】 契 約 件 名：（H25）東丁住宅ほか１住宅外壁改修その他工事（一般・公共工事） 契約相手方：株式会社小又建設 契 約 金 額：132,300,000円 契約締結日：平成25年９月９日 担 当 部 局：東北財務局総務部会計課	
入札参加者の拡大、落札率の向上に向けての取組は行っているか。	公共工事の入札を巡る環境は、不落、不調事案が多いなど非常に厳しい状況である中、当局としては、入札参加者の拡大を図る観点から、公正さを担保しつつ、工事規模を大きくすることによって入札に参加しやすい仕様とするなどの取組を行っている。 また、国の機関、独立行政法人、東北６県の地方公共団体などが構成員となっている「東北地方発注者協議会」においては、建設団体から寄せられた公共工事に係る発注見通しの早期公表に係る要望を踏まえ、地区毎に国や地方公共団体等の入札案件を全て取りまとめて公表する取組も行っている。
青森県に住所がある契約業者が、宮城県内で工事を施工することになるが、履行に当たり支障は生じないか。	契約業者は、本社を青森県に置いているが、仙台市にも出張所を有しており、工事に関して宮城県内の協力業者も確保している。また、当局が発注している他の工事の請負実績もある業者であることからも、適切に施工できると判断している。
【事案２】 契 約 件 名：国有財産測量等業務（H25－第１回） 契約相手方：土地家屋調査士　柴田健治事務所 契 約 金 額：2,604,000円 契約締結日：平成25年７月１日 担 当 部 局：東北財務局総務部会計課	
１者応札だった背景をどう考えているか。	土地家屋調査士を取り巻く現況は、震災後、土地の所管の確認、境界の確定等で多忙を極めているという話が聞こえてきており、このことも１者応札となった原因の一つかと考えている。
測量業務に関しては、入札参加者が少ない状況を踏まえ、応札者を増やす観点から、財務省競争参加資格登録がなされていなくとも、土地家屋調査士の資格を有している者は、全員応札できるというような仕組みについて検討してみてはどうか。	ご意見として賜り、検討させていただきたい。

別紙１

意　見　・　質　問	回　　答
【事案３】 契 約 件 名：平成25年分年末調整関係書類封入及び発送代行業務（グループ１宮城県、福島県） 契約相手方：日本通運株式会社仙台支店 契 約 金 額：20,250,208円 契約締結日：平成25年８月19日 担 当 部 局：仙台国税局総務部会計課	
当該業務において取り扱うこととなる個人情報等に関し、業者における個人情報の管理は徹底されているか。	受託者に対しては、個人情報管理の観点からプライバシーマークの使用許諾者であること又はこれに準ずる個人情報保護に関する認定を受けていることの条件を付している。また、業者の個人情報の管理状況を確認する目的から「個人情報の管理に関する届出書」を提出させるとともに、契約書上においても、守秘義務を課すなどの対応を行っている。
入札参加資格として、財務省競争参加資格（全省庁統一資格）における「Ｂ」、「Ｃ」の等級に格付けされた者のほか、「Ａ」の等級に格付けされた者を加えている理由は何か。	過去及び同種の案件に係る入札状況を考慮したところ、「Ｂ」及び「Ｃ」等級に格付けされた業者だけでは、入札参加業者が少ないと見込まれたため、更に競争性を高める観点から、「Ａ」等級に格付けされた者も加えたものである。
【事案４】 契 約 件 名：米沢税務署水路改修工事（一般・公共工事） 契約相手方：株式会社後藤組 契 約 金 額：12,600,000円 契約締結日：平成25年８月８日 担 当 部 局：仙台国税局総務部営繕監理官	
１者が入札書を提出しなかったとのことであるが、理由は何か。	仕様を検討したが、他の現場との兼ね合いから履行困難と判断し、入札を辞退したと聞いている。
落札者を含め、入札金額が端数のないものとなっている理由は何か。	当案件に限らず、工事業者による入札金額は、最初に直接工事費を積算の上、その後、共通費を加算し、最終的に端数処理を行うことが多く、当該入札においても、そのように入札価格を算定したものと考えられる。
【総評】 １　審議した４件の事案に係る入札手続及び入札は、適正に行われたと了解した。 ２　要望として３点申し上げたい。 （１）応札者を増やす観点から、関係団体等に働き掛けたり、ルールや仕組みを見直すなどの努力を行っていただきたい。 （２）競争参加資格の設定に当たり、「Ａ」等級に格付された者を加える場合は、中小企業の受注機会の増大を図る観点から、慎重に行っていただきたい。 （３）端数のない金額による入札など、入札金額の積算に疑義が生じるような場合には、入札業者に積算方法を確認するなど、発注者側として特段の注意を払っていただきたい。	